

---

# 天に舞うは九つの尾っぽ

櫻塚森

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

天に舞うは九つの尾っぽ

### 【Nコード】

N2859Z

### 【作者名】

櫻塚森

### 【あらすじ】

地獄堂霊界通信の二次創作です。

香月日輪先生の作品が大好きでとうとう手を出してしまいました。竜也兄ちゃんLOVEなため、竜也兄ちゃんの彼女を作ってしまった。いや、まだ彼女ではないですが。

原作の色を壊さないよう、文章などは参考にしながら書いていけたらと思います。甘酸っぱい感じとちょいとエッチな感じが出したいなあと思ったり？

九尾の狐って知ってるかい？

その名の通り。尾っぽが九つに分かれています狐のことさ。

もちろん、尾っぽが分かれてるなんて、普通じゃない。

力を秘めた動物は、長く生きる度にその尾が分かれていくんだ。

猫又ってやつも尾が分かれてるだろう？

百年生きると2つに分かれる尾。

九つも尾が分かれているってことは、かなりの時を生きているってことで、それだけ力も強い。

そこまで生きてる狐は、神仏に帰依するか、闇に下るか。

どちらにしろ、この世のものではないんだよ。

くわばら、くわばら。

「祐介！祐介！」

いつもエレガントで優雅な美麗母ちゃんが椎名の住む高級マンションに駆け込んできた。

今日は、てっちゃんやリョーチンもいて、いつも優雅な美麗母ちゃんその様子に目を丸くした。

「どうしたんだ？母ちゃん。」

美麗母ちゃんは部屋に入るときゅっと彼を抱きしめ、その勢いでてっしやリョーチンをも抱きしめた。

美麗母ちゃんのいい香りにてっしとリョーチンはどきっと心臓が高鳴った。

やっぱり、自分たちの母ちゃんとは違うなあと。

「やっつと、やっつと決心してくれたの！雅ちゃんが！！」

心底嬉しそうな美麗母ちゃん言葉に椎名だけが目を見開いていた。

「雅姉ちゃんが、本当？」

「そうよ、やっとうちの子になってくれるって！」

てつしとリョーチンは顔を見合わせてチヨンチヨンと椎名の肩を突付いた。

美麗母ちゃんは、スキップしそうな勢いで部屋から出て行った。

「ミヤビ姉ちゃんって誰？」

そう尋ねたりョーチンは可愛く小首をかしげている。

彼の問いに椎名は珍しく興奮したような紅潮した顔で言った。

「雅姉ちゃんって言うのは、母ちゃんの妹の美鈴おばちゃんの子供。つまり、従妹さ。けど一昨年、おばさんとおじさんが事故で亡くなつて。母ちゃんは、雅姉ちゃんを引き取りたいって言ってたんだけど、色々あってさ、中々決まらなくて。」

「じゃあさ、椎名の姉ちゃんになるってことか？」

てつちゃんの言葉に椎名はにっこりと笑った。

つづく

## 2 (前書き)

人物紹介を兼ねています。

万が一、地獄堂霊界通信を知らない方のために。

金森てつし。

小学校五年生。

最上級生を押さえて上院小学校の番をはっている。

頭は悪いが腕っ節と義理堅さは天下一品、皆の頼れる番長「上院のてつ」だ。

「向かいん家のリョーチン」こと新島良太。

てつしの幼馴染にして、右腕的存在。フワフワうさぎ頭の可愛い男の子。痩せっぽちのチビだが、その「足技」はてつしをも凌駕する。「一組の椎名」こと椎名祐介。

短気でバカなてつしを助ける軍師、参謀役。

常に冷静沈着、頭脳明晰、サラサラ黒髪、切れ長目の美少年だ。

この三人誰が呼んだか「町内イタズラ大王三人悪」その機動力と行動の突飛さで、集まれば、大人に取ってロクでもない悪戯を繰り返す。

しかし、ここ最近「三人悪」は連れ立っていても以前のように「イタズラ」を繰り返すことがなくなった。

それは、「地獄堂」との愛称で呼ばれる薬局に入り浸っているからである。

この「地獄堂」本来の名は「極楽堂」であるが、右に傾きかけた店構えや百歳とも噂される店主の風貌から、子供たちにとっては「恐怖のおつかいポイント」と呼ばれている。

かく言うてつしも幼稚園の頃ほど幼い頃は前を通るのさえ怖かったが、今は三人悪ともどもココに入り浸り、「地獄堂のおやじ」から見えるようで見えない、見えているようで見えない不思議の世界の存在を教えられ、その扉を開けてしまったのである。

時には、迷う靈魂を沈め、時には、人を救ってきた三人悪。

てつしは、不動明王、リョーチンが地蔵菩薩、椎名が文殊菩薩に守護されているのだ。

「叔母ちゃん達が生きていた頃は、よく遊んでたんだ。雅姉ちゃん  
は、なんて言うか、美人で、優しくてさ、裏表がないって言うか・  
・。」

少し照れたように語る椎名って言うのも珍しい。

てつしもリョーチンも“ああ、雅姉ちゃんって、椎名のお気に入り  
なんだな。”っと早々に悟ってしまった。

「けど、叔母ちゃん達が死んでしまっただけからは、親戚中を転々とし  
ててさ、何回も母ちゃんは雅姉ちゃんにうちに来いって言ってたん  
だけど、何かしら理由をつけて断られていたんだ。」

「理由って?」

「よく知らない。母ちゃんは何回か手紙を貰っていたみたいだけど、  
あんまり連絡がつかないって嘆いてた。俺が小学校に上がる前から、  
この町には居なかったみたいなんだ。」

小さい頃の椎名の写真。

アルバムを引っ張り出してきた彼は、一緒に映ってる雅姉ちゃんを  
指差した。

「ひょうーっ！可愛いって言うか、美人な幼稚園児だ！」

リョーチンが思わず声を上げる。

「雅姉ちゃんは、叔母ちゃん似だからね、母ちゃんと叔母ちゃんは  
美人姉妹で有名だったんだ。」

中学生になっているであろう、雅姉ちゃんの顔を思い浮かべてみる。

「祐介にも似てるよ。」

従妹だけ会って、自分とよく似た風貌の美少女だと椎名は思った。

祖母ちゃんに義理立て通っていた幼稚園の帰り道、小学校に通う  
雅姉ちゃんもついでだからと麗母ちゃんをよく迎えに行っていた。  
けど、雅姉ちゃんはいつも決まった場所にいなくて、いつも泥だら  
けだった。

綺麗なお嬢様って感じの雅姉ちゃんが泥だらけで現れることがしばしばあったから、美麗母ちゃんも叔母ちゃんも叔父ちゃんも「いじめ」かと大騒ぎしてたけど、雅姉ちゃんは静かに笑って「私の中の私が修行を求めているの。」って訳の分からないことを言ってたっけ。ふいに考え込んだ椎名にてつしリョーチンも首をかしげた。

「修行？」

あの当時は、雅姉ちゃんが何を言っていたのか、もひとつ理解していなかった。

美麗母ちゃんも叔母ちゃんも叔父ちゃんも雅姉ちゃんの様子を見守っていた。

泥だらけだった下校中の雅姉ちゃんはいつの間にか小綺麗になっていた。

「慣れてきたから。もう、大丈夫。」

そう言った雅姉ちゃんの写真に椎名は言い知れぬものを感じた。

「あの感じ……。」

あれは、何だったのだろうか。

ぞくりと何かが背中に走った。

一人考えの中に入っていた椎名の肩をリョーチンが叩く。

「椎名、何考えてるの？」

「一回、おれ、雅姉ちゃんが怖いって言うかそう感じたことがあったんだ。」

優しいとさつき言ったばかりの雅姉ちゃんのイメージがどうも定まらないでつしとリョーチン。

「雅姉ちゃんっておっかないのかよ。」

リョーチンがつしの言葉に嫌そうな顔をした。

「えっおっかない姉ちゃんっていやだなあ。」

リョーチンは自分の姉達の顔を思い浮かべているようだった。

4人兄弟の末っ子のリョーチンは今よりもっと幼い頃、兄や姉達の玩具だった。

「そう言う怖さじゃなかった。あれは……。」

台所から喜びの歌を歌っている美麗母ちゃんの声がする。

「会えば分かるんじゃないかねーの？兎に角、美麗母ちゃんは喜んでるし、めでたいことなんだよな。祐介も一人っ子じゃなくなるってことだ。」

新しい家族ができる。

「うん。」

別に一人っ子でも、兄弟が居ても彼のスタンスは変わらないだろう。きつと、シニカルな顔だけ天使の小学生のまま、てつし達とつるんでるんだ。

「美麗母ちゃんみたいに、素直に喜んでみるか。」

椎名にとつて、記憶の中の雅姉ちゃんはおしとやかじゃないけど、優しい姉ちゃんだ。

記憶力も頭もいい椎名は一抹の不安を感じながらも雅姉ちゃんに会えることを楽しみだと思えた。それは、自分以上に嬉しいとはしゃいでいる美麗母ちゃんや、めでたいと言ってくれてつしやリョーチンのお蔭だった。

つづく

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2859z/>

---

天に舞うは九つの尾っぽ

2011年12月11日00時25分発行